

防コミの歩き方



南海トラフ巨大地震に備える

●南海トラフ巨大地震の津波

南海トラフ巨大地震が起きれば神戸市に震度6強の揺れが発生し、中央区には地震発生91分後に神戸市内で最も高い最大3.9mの津波が押し寄せると想定されています。

津波から大切な命を守るためには、高台にいち早く逃げるのが大切です。

●みなと元町タウン協議会津波避難訓練

そこで、浸水想定されている地域にある神戸諏訪山防コミと下山手防コミの南側に位置するみなと元町タウン協議会では、東日本大震災から3年目を迎えた3月11日に南海トラフ巨大地震に備えた津波避難訓練をおこないました。

この訓練には、元町商店街、自治会、NPO法人「あいあいネット神戸」、消防団員、区役所職員、警察官、消防職員など約50人が参加しました。

●要援護者の避難訓練

当日は午前9時に参加者がポートセンター街園（中央区海岸通4丁目）に集合し、約900m離れた避難所に指定されている市立こうべ小学校を目指し避難訓練を開始しました。

車いす2台を先頭に、消防団員が危険な場所を確認しながら、参加者が車いすを押して要援護者の搬送体験を実施しました。スタート地点から約300m先のJRの高架までは平坦な道のりで参加者の足取りも軽く、車いすもスムーズに進んでいましたが、高架を越えた地点から急に坂の勾配がきつくなり、車いすを押す参加者のスピードも少し遅くなりました。

最終的には、参加者全員リタイアすることもなく無事に市立こうべ小学校正門前に到着しました。

●避難訓練の結果

この訓練で、車いすを使用した要援護者の避難にかかる時間を計測しました。

スタート地点から市立こうべ小学校まで避難にかかった時間は23分09秒でした。

今回の訓練で避難経路と要援護者の方を安全に避難させるための時間を参加者で確認することができました。

今後、地域住民や商店街を訪れた買い物客の避難に役立てていただきたいと思います。

（中央消防署 裏井浩一郎）

